

平成25年度全国学力・学習状況調査の概要について【中学校】

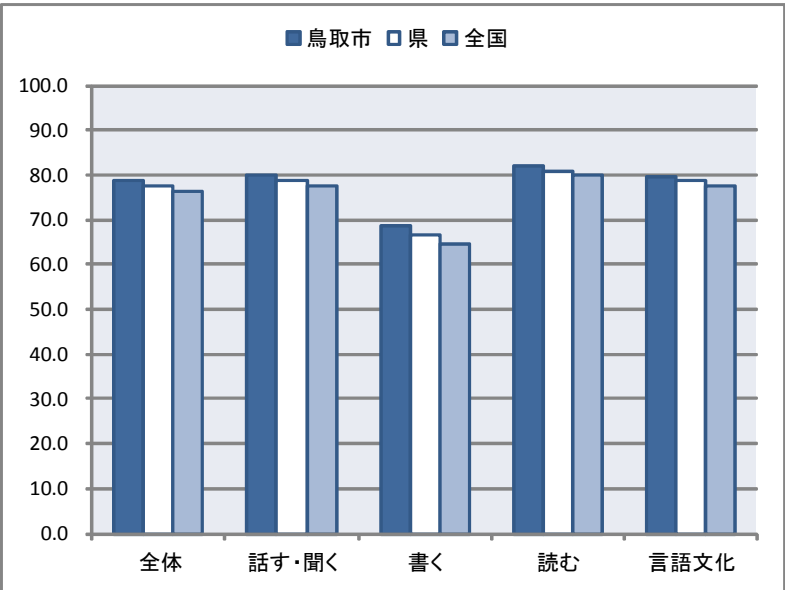
鳥取市教育委員会

本年4月24日にすべての中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査について、本市の概要をお知らせします。本調査により測定できる学力は一部ではありますが、生徒の学力・学習状況の把握と全国の集計結果との比較ができます。

教科の調査から ー国語・数学（A〔知識〕・B〔活用〕）ー

※ 表及びグラフの数値は、すべて平均正答率(%)を表しています。

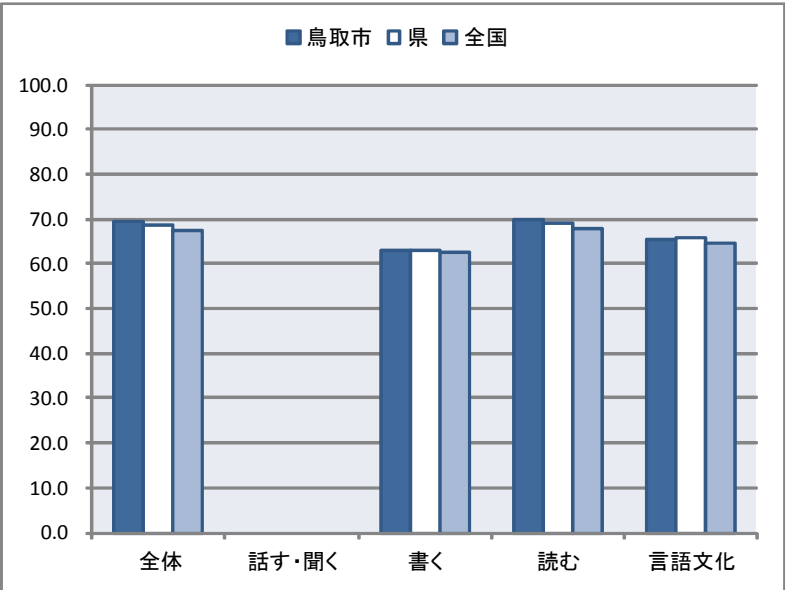
国語A	鳥取市	県	全国
全体	78.7	77.6	76.4
話すこと・聞くこと	79.9	78.7	77.6
書くこと	68.5	66.5	64.5
読むこと	82.0	81.0	80.0
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	79.6	78.6	77.5



国語A〔主として知識にかかわる問題〕

- すべての領域等において全国平均を上回っています。
- 「書くこと」領域において全国平均を大きく上回っています。特に『文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く』問題において全国平均を6.9ポイント、『書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直す』問題において全国平均を5.2ポイント上回っています。

国語B	鳥取市	県	全国
全体	69.4	68.6	67.4
話すこと・聞くこと	69.8	69.0	67.8
書くこと	62.8	63.1	62.7
読むこと	69.8	69.0	67.8
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	65.6	65.7	64.6



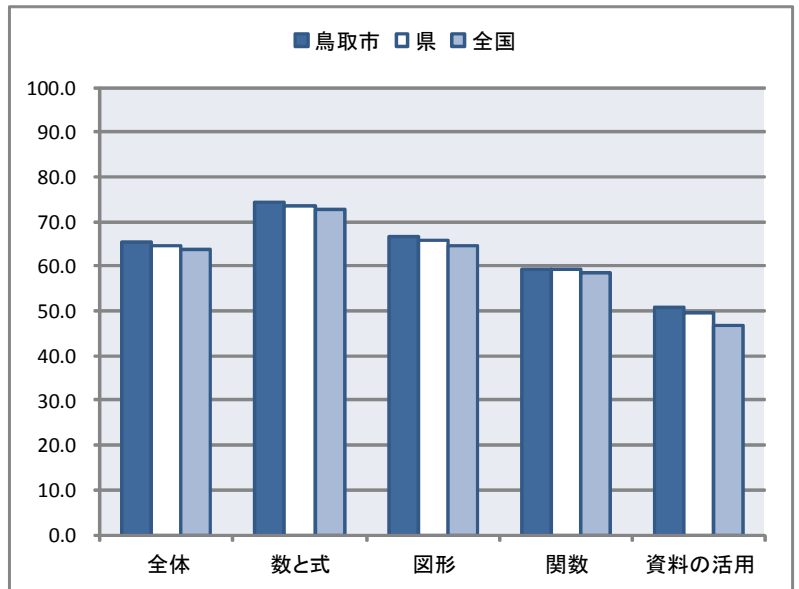
国語B〔主として活用にかかわる問題〕

- すべての領域等において全国平均を上回っています。
- 『文章の内容について、根拠を明確にして80字以上、100字以内で自分の考えを書く』問題において全国平均を2.2ポイント下回っており、無回答率も全国平均を上回っています。

数学A	鳥取市	県	全国
全体	65.4	64.8	63.7
数と式	74.3	73.4	72.7
図形	66.7	65.9	64.6
関数	59.3	59.4	58.7
資料の活用	50.9	49.7	46.8

数学A〔主として知識にかかわる問題〕

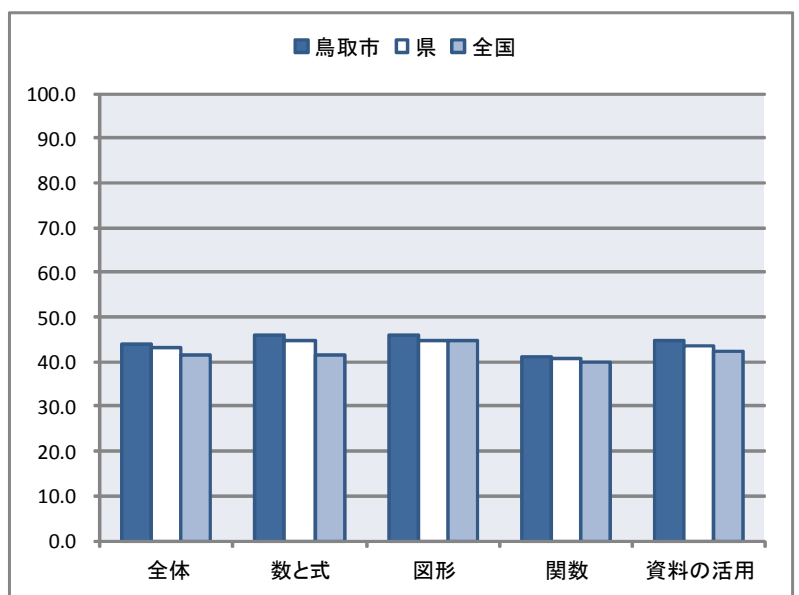
- ・すべての領域において全国平均を上回っています。
- ・「資料の活用」領域において全国平均を大きく上回っています。特に『大小2つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも1になる確率を求める』問題において全国平均を7.4ポイント上回っています。
- ・「図形」領域のうち、『立体の辺を含む直線について、正しい記述を選ぶ』問題において全国平均を8.0ポイント上回っています。



数学B	鳥取市	県	全国
全体	44.0	43.0	41.5
数と式	46.1	44.6	41.7
図形	45.8	44.8	44.8
関数	41.3	40.9	40.0
資料の活用	44.6	43.6	42.2

数学B〔主として活用にかかわる問題〕

- ・すべての領域において全国平均を上回っています。
- ・「数と式」領域において全国平均を大きく上回っています。特に『1辺に5個ずつ基石を並べて正三角形の形をつくったときの、基石全部の個数を求める』問題において全国平均を10.1ポイント、『基石全部の個数を求める式 $3(n-1)$ に対応する囲み方を選ぶ』問題において全国平均を8.3ポイント上回っています。



生徒質問紙調査から ―学習習慣や生活習慣などに関する質問―

1. 自分にはよいところがあると思う生徒の割合は、経年比較において上昇しています。
2. 「学校のきまりを守る」「人の気持ちが分かる人間になりたい」「いじめはいけない」「人の役に立つ人間になりたい」といった項目については、良好な状況が高い水準で推移しています。
3. 家庭学習を計画的に行う生徒の割合が、経年比較において上昇しており、特に授業の復習をする生徒の割合が大幅に上昇しています。授業の予習をする生徒の割合も上昇していますが、全国との比較において-11.1ポイントとかなり低い状況です。
4. 普段の授業で、本やインターネットを使ってグループで調べる活動や話し合う活動の機会が与えられていると思う生徒の割合が、経年比較において上昇しています。
5. 国語の学習において、書く活動や話す活動を難しいと思う生徒の割合が、経年比較において低下しています。また、読む・話す・書く場面において工夫している生徒の割合が、経年比較において上昇しています。
6. 数学の勉強は好きな生徒の割合が、経年比較において確実に上昇しています。「授業の内容がよく分かる」「あきらめずにいろいろな方法を考える」「生活の中で活用できないか考える」「簡単に解く方法がないか考える」「公式やきまりの根拠を理解するようにしている」といった項目についても同様でした。ただし、全国との比較においては、いずれもやや低い状況です。
7. 携帯電話やスマートフォンを所持している生徒の割合が、全国との比較においては低いものの、昨年との比較において13.1ポイント上昇しています。その一方で、家の人との約束を守っている生徒の割合は、全国平均との比較において-22.2ポイントと大幅に低い状況です。